

定期点検における点検支援技術の活用等 に関する講習会を開催しました

～改定点検要領の理解促進に向け、座学と
実機を使用しての現地講習を実施～

《開催概要》

埼玉県道路メンテナンス会議は、令和元年8月2日（金）に、定期点検における点検支援技術の活用等に関する講習会を開催しました。この講習会は平成31年2月に改定された点検要領の理解促進を目的に、地方公共団体への技術支援の一環として県内の道路管理者を対象に行ったもので、埼玉県、13市町(点検従事者等を含む)より約30名の参加がありました。

座学では、点検支援技術を活用する流れ（新技術利用のガイドライン、点検支援技術性能カタログの活用方法等）について説明を行った他、変状や構造特性に応じた定期点検の合理化（特定の条件を満足する溝橋の定期点検に関する参考資料の概要等）についての説明を行いました。また、点検支援技術の活用にあたっては、活用する目的を満足する成果を得るための計測方法が重要と考えられることから、現地講習では実機を用いて、精度管理計画に基づく測定などの体験講習を実施しました。



座学状況(講師：中山道路構造保全官)



現地講習状況



現地講習状況



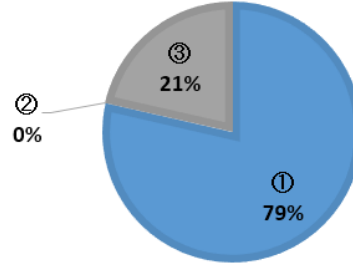
現地講習状況

講習会に関するアンケート集計結果

講習会参加者の職種及び経験年数について

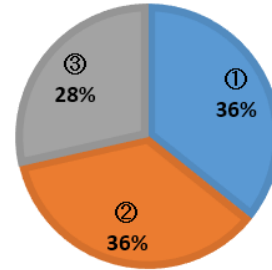
・参加者の職種

- ① 技術職(土木)
- ② 技術職(土木以外)
- ③ 事務職(一般職)



・参加者の担当業務の経験年数

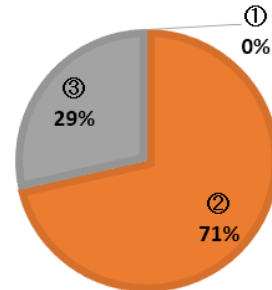
- ① 1年未満
- ② 1年以上～3年未満
- ③ 3年以上



講習会の実施時期・時間配分について

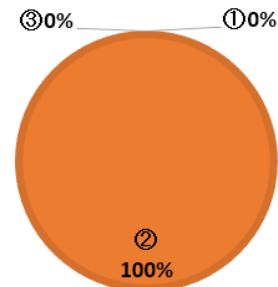
・講習会の実施時期

- ① 早い
- ② ちょうど良い
- ③ 遅い



・現地講習の時間配分

- ① 短い
- ② ちょうど良い
- ③ 長い



代表的な意見

新技術については、初めてだったので理解が深まった
実際に点検しているところを拝見できて勉強になりました
座学講習に休憩がなく、集中力が続かなかった

※アンケートにお寄せ頂いたご意見については、次回講習会開催にあたり参考にさせていただきます